

地域貢献への取り組み

社会貢献活動

琉球銀行は、社会貢献活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域社会への貢献活動

琉球銀行は、平成24年9月に沖縄県警察・那覇市消防本部と防犯活動等に関する覚書等を締結、全営業店を「防災」「防犯」の地域拠点として活用し、警察や防災の活動を支援する「琉球銀行地域安全サポートブランチ」を開設しました。

地域福祉への支援活動

りゅうぎんユイマール助成会では、平成24年11月に、毎年開催している小規模作業所の自立支援イベント「ナイスハートバザールイン沖縄」に今年も特別協賛し、ボランティアとして参加した行員を含め作業所の皆さまと一緒に、バザーを運営しました。

また、当行は、東日本大震災の復興支援として平成23年3月16日より全営業店に募金箱を設置しており、その募金箱を通して集まったお客さまからの善意の募金を義援金として日本赤十字社を通じ東日本大震災被災者へ贈呈しました。

その他、当行は、社会福祉活動にかかわる法人及び団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の事務局として、その運営にたずさわっています。

CSR(企業の社会的責任)活動

琉球銀行では、児童の適切な社会知識の習得を目的に、毎年、夏休み期間中に「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。10回目の今回は、ゲームを通して経済の仕組みやお金の流れ等を学習する経済教室に加え、新たにホテルを題材にした科学実験を通して、環境について学習するサイエンス教室を開催しました。

芸術文化支援活動

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成、ならびに紅型デザインの新しい領域の追求を目的として、「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。

第21回となる今回は、新垣優香さんが作品「森を生きる」で2年連続の大賞を受賞しました。

入賞作品については、琉球銀行のカレンダーや通帳、広報物及び、かりゆしウェアのデザイン等として広く活用されます。

※りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から300万円の募金が集まった場合、銀行も300万円を拠出し、合計600万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、315件、1億4,297万円となりました。(平成24年11月10日現在)



「地域安全サポートブランチ」を開設



りゅうぎんキッズスクールの様子(サイエンス教室)



りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式